

LAB Gluco(ラボ グルコ)
実験動物用グルコース測定装置

試験研究用
Research Use Only

医療目的、診断目的では
ご使用になれません。

取扱説明書



【輸入元】
株式会社フォラケア・ジャパン
〒108-0075
東京都港区港南2-11-18
天王洲デュープレックス101号室

【販売元】
リサーチアンドイノベーション ジャパン株式会社
〒270-1436
千葉県白井市七次台3-13-1

ご使用前に

1. 試験研究用にご使用ください。医療目的、診断目的ではご使用になれません。
2. この取扱説明書に規定される方法以外で使用しないでください。
3. 指定された消耗品、付属品以外は使用しないでください。
4. 故障したと感じる場合は使用しないでください。
5. 電磁波が発生する場所では使用しないでください。

目次

- 1 使用目的
- 2 測定原理
- 3 製品の外観
- 4 LG用センサー
- 5 本体の設定
- 6 測定方法（通常、コントロール）
- 7 メモリーの呼び出し方
- 8 電池の交換方法
- 9 トラブルシューティング
- 10 製品仕様
- 11 保証書

1 使用目的

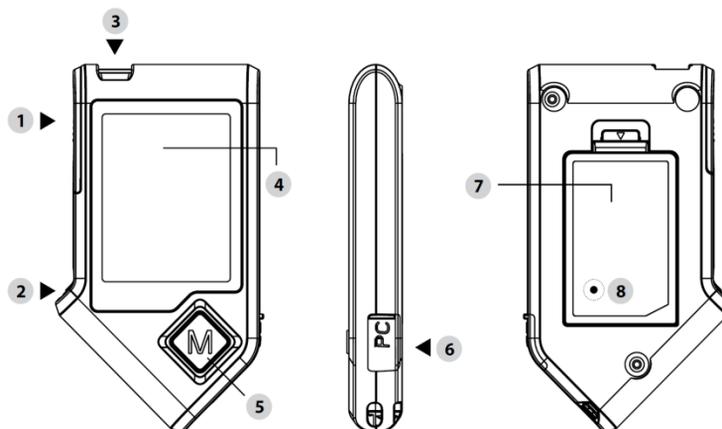
本製品は実験動物の血中グルコースを測定するものです。測定検体には実験動物より採取した全血、あるいは血漿を使用します。

2 測定原理

血液中のグルコースに対して以下の反応1を誘発させます。
反応1で発生したFerrocyanideを反応2で電気化学的に定量しグルコースの量を算出します。

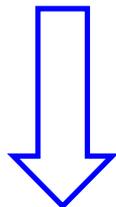
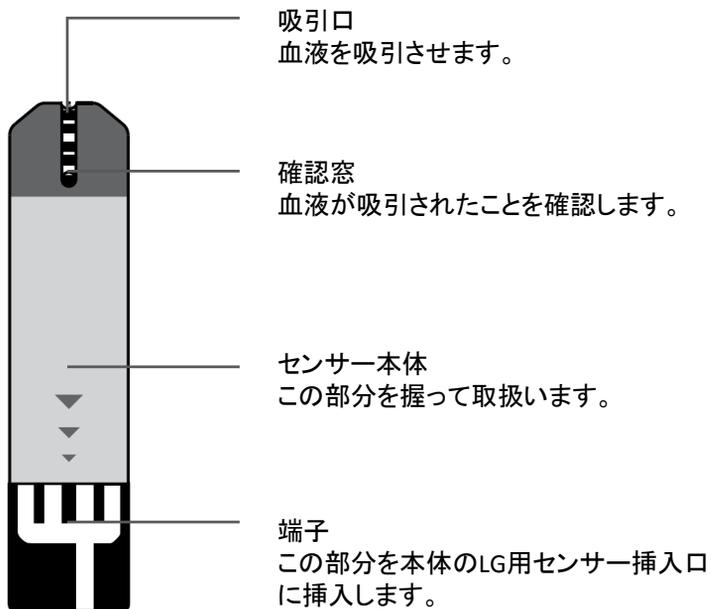


3 製品の外観

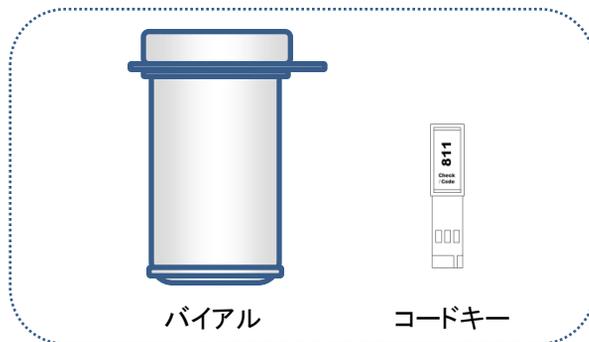


- ①イジェクター
LG用センサーを排出させます。
- ②Cボタン
使用しません。(※工場出荷時調整用)
- ③LG用センサー挿入口
LG用センサーを挿入します。
- ④ディスプレイ
測定結果など情報を表示します。
- ⑤Mボタン
メモリーを表示させます。本体の設定にも使用します。
- ⑥データポート
使用しません。(※工場出荷時調整用)
- ⑦電池カバー
電池交換時、および本体の設定時にはずします。
- ⑧セットボタン
本体の設定時に押します。

4 LG用センサー

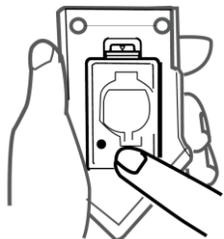


この面を手前にして本体に挿入します。
LG用センサーの向きにご注意ください。



5 本体の設定

はじめてご使用になる前、あるいは電池を交換した場合には本手順に従って設定を行ってください。



電池カバーを外してセットボタンを押してください。



1 年の設定

「年」が点滅しています。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。



2 月の設定

「月」が点滅しています。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。



3 日の設定

「日」が点滅しています。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。



4 時の設定

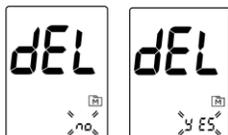
「時」が点滅しています。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。



5 分の設定

「分」が点滅しています。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。

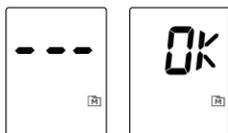
5 本体の設定



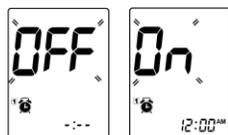
6 メモリーの消去

「dEL」が表示され「no」が点滅しています。メモリーを消去したい場合はMボタンを押して「yes」を表示させセットボタンを押します。

メモリーが全て消去され「OK」が表示されます。



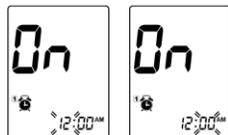
メモリーを消去しない場合は「no」が点滅している状態でセットボタンを押します。



7 時刻アラーム

4種類の時刻アラームを設定することができます。

①  が表示された状態でMボタンを押すと「OFF」が「On」に変わります。セットボタンを押して「時」を点滅させます。Mボタンで合わせセットボタンを押してください。



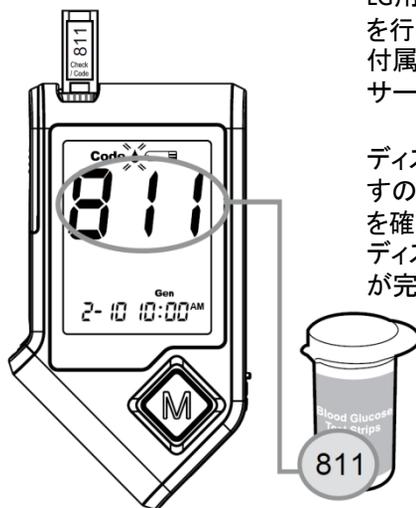
「分」が点滅しています。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。

②  が表示されます。必要に応じ上記の手順を繰り返してください。必要なければセットボタンを三回押してください。「OFF」が表示され電源が切れます。

これで本体の設定は終了しました。

6 測定方法

【測定の前に】



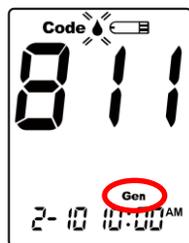
LG用センサーのバイアル毎にロット補正を行いますので、新しく開封した場合には付属の「コードキー」を本体の「LG用センサー挿入口」に差し込んでください。

ディスプレイに数字でコードが表示されますので、バイアルの表示と同じであることを確認して「コードキー」を抜いてください。ディスプレイに「OK」が表示され測定準備が完了します。

【測定モード】

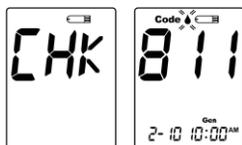
本製品には下記2種類の測定モードがあります。

- 1 検体測定モード：ディスプレイに「Gen」と表示されます。
- 2 QCモード：ディスプレイに「QC」と表示されます。

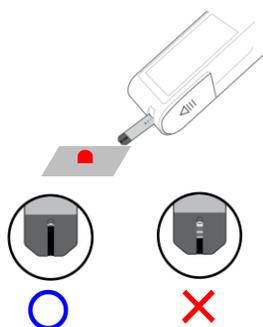


6 測定方法

【検体測定モード】



1 LG用センサーを挿入してください。☹️と💧が表示されます。また、「Gen」が表示されていることも確認してください。

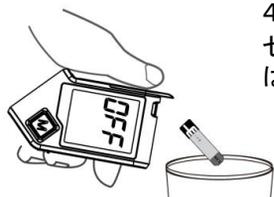


2 採取した検体にLG用センサーの吸引口を近づけて吸引させてください。LG用センサーの確認窓を見ながら十分な検体を吸引させます。

※十分な検体量が吸引できなかった場合は再度、新しいLG用センサーを使用して吸引させてください。追加吸引させないでください。



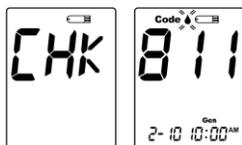
3 十分な検体量が吸引された後、5秒で結果が表示されますので確認してください。



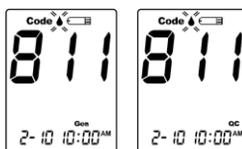
4 イジェクターをスライドさせ使用済みのLG用センサーを取り外して処分してください。本体は自動的に電源が切れます。

6 測定方法

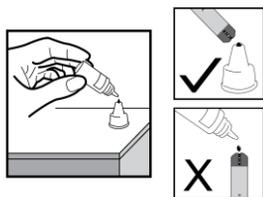
【QCモード】



1 LG用センサーを挿入してください。☹️と💧が表示されます。また、「Gen」が表示されていることも確認してください。



2 Mボタンを押して「Gen」を「QC」に変えてください。



3 コントロール液のボトルをしっかりと転倒混合してください。キャップを外してテーブルの上に置きます。最初に出る一滴は捨て、二滴目をキャップの先端に乗せてください。

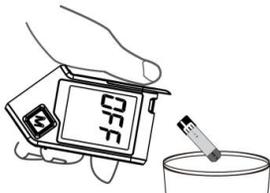
4 採取した検体にLG用センサーの吸引口を近づけて吸引させてください。LG用センサーの確認窓を見ながら十分な検体を吸引させます。

※LG用センサーに溶液を直接つけないでください。



5 十分な検体量が吸引された後、5秒で結果が表示されますので確認してください。

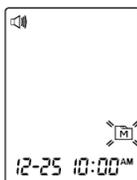
※範囲外であった場合、再度本手順を実施してください。それでも範囲外となる場合には該当するバイアル内のLG用センサーは使用しないでください。



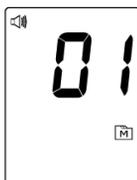
6 イジェクターをスライドさせ使用済みのLG用センサーを取り外して処分してください。本体は自動的に電源が切れます。

7 メモリーの呼び出し方

【測定結果の表示】



1 Mボタンを押してください。「M」が表示されます。



2 再度Mボタンを押してください。検体測定モードで測定した直近の結果が日時情報とともに表示されます。

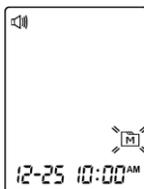


3 Mボタンを押すごとに過去の結果にさかのぼります。

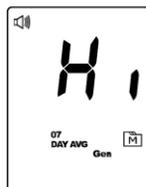
4 最後の結果を表示したあとにMボタンを押すと「END」に続き「OFF」が表示され電源が切れます。

7 メモリーの呼び出し方

【平均値の表示】※測定記録が無い場合は「- -」が表示されます。



1 Mボタンを押してください。「M」が表示されます。



2 Mボタンを押したままにして「DAY AVG」が表示されたらボタンから手をはなしてください。当日を含め過去7日間に測定した平均値が表示されます。

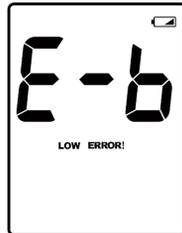
3 Mボタンを押すごとに14日間、21日間、28日間、60日間、90日間の各平均値を表示します。

4 90日間の平均値を表示したあとにMボタンを押すと「END」に続き「OFF」が表示され電源が切れます。

8 電池の交換方法

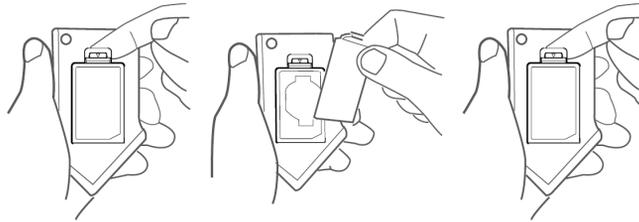
電池容量の低下

以下が表示されたら電池を交換してください。



電池の交換方法

交換の前に製品の電源が切れていることを確認してください。



- 1 電池カバーの端を持ち上げて外してください。
- 2 古い電池を取り出し新しい電池を入れてください。
電池はコイン型リチウム電池CR2032です。
古い電池を取り外す際は電池の下をつまようじなどで上に上げると取り外しやすくなります。
電池がきちんとはいると、「ピー」と音がします。
- 3 電池カバーを締めてください。
※電池を交換しても、メモリーが消去されることはありません。

9 トラブルシューティング

【検体結果の表示】

表示	原因
	測定可能範囲より低値です。
	測定可能範囲より高値です。

【エラーメッセージ】

表示	原因	対処方法
	測定に必要な電池残量がありません。	新しい電池に交換してください。
	使用済みのセンサーが挿入されました。	新しいセンサーで測定してください。
	測定中にセンサーが取り外されました。 もしくは測定中にエラーが発生しました。	新しいセンサーで再度測定しても同じメッセージが表示される場合は輸入元にお問い合わせください。

9 トラブルシューティング

【エラーメッセージ】

表示	原因	対処方法
	異なる補正チップが挿入されました。	正しい補正チップを挿入してください。 本体のコード表示とセンサーボットのコード番号が合っていることを確認してください。
	使用期限を過ぎた補正チップが挿入されたため測定を中止しました。	使用期限内のセンサーを使用してください。
	測定可能な温度範囲から低く外れています。	測定可能な温度は10°Cから40°Cの間です。 この温度範囲の中で機器をなじませてから再度測定してください。
	温度が測定可能な範囲から高く外れています。	
  	測定中にエラーが発生しました。	新しいセンサーで測定しても同じメッセージが表示される場合は輸入元にお問い合わせください。

輸入元

株式会社フォラケア・ジャパン
東京都港区港南2-11-18 天王洲デュープレックス101号室
03-5782-7627 (土日祭日を除く10:00~17:00)

10 製品仕様

【仕様】

項目	内容
製品名	LAB Gluco(ラボ グルコ)
サイズ	L95 x W49 x H14 (mm)
重量	42g
電源	DC3Vリチウムイオン電池(CR2032) × 1個
表示形式	LCD
記憶容量	400件
使用環境	温度: 10~40°C 湿度: 95%(RH)以下 ※結露なき状態
測定範囲	20~600mg/dL
必要検体量	1.1μL

【付属品／消耗品】

製品番号	製品名
4239R1001	ラボ グルコ機器セット - 機器本体 × 1台 - LG用穿刺器 × 1本 - LG用針 × 50本 - 携帯用ケース × 1個
4239R1002	LG用センサー(50枚入り)
4239R1003	LG用穿刺器(1本入り)
4239R1004	LG用針(100本入り)
4239R1005	LG用コントロール溶液(4mL × 2本)

MEMO

11 保証書

保証書

[保証規定]

- ・保証期間はご購入後1年間です。
- ・保証期間内に故障が生じた場合は下記輸入元にご連絡ください。状況を確認のうえ保証方法を検討させていただきます。
- ・ただし、以下の場合は保証期間内であっても保証対象外とさせていただきます。
 1. 使用上の誤りや改造により発生した故障
 2. 故意あるいは不慮の落下による故障や損傷
 3. 故障の原因が本品以外に起因する場合
 4. 弊社の責によらない故障
- ・本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ・本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

製品名	LAB Gluco(ラボ グルコ)
製造番号 (シリアル)	
ご担当者様 お名前 ご住所 お電話番号	
ご使用場所 名称 ご住所 お電話番号	
ご購入年月日	
ご購入先	

輸入元

株式会社フォラケア・ジャパン
東京都港区港南2-11-18 天王洲デュープレックス101号室
03-5782-7627 (土日祭日を除く10:00~17:00)